



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月12日

上場会社名 株式会社中央製作所

上場取引所 名

コード番号 6846 URL <http://www.chuo-seisakusho.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 邦之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼研究開発部長 (氏名) 柘植 良男

TEL 052-821-6166

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,837	31.5	131		124		111	
2019年3月期第2四半期	2,681	19.3	107	117.9	121	92.4	98	60.2

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 132百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 95百万円 (7.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	144.71	
2019年3月期第2四半期	126.82	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	4,668	2,145	46.0
2019年3月期	5,398	2,297	42.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 2,145百万円 2019年3月期 2,297百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		25.00	25.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,400	19.9	25	89.6	30	88.6	20	90.4	25.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	784,300 株	2019年3月期	784,300 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	10,602 株	2019年3月期	10,557 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	773,724 株	2019年3月期2Q	773,973 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
3. その他	9
(1) 生産実績	9
(2) 受注実績	9
(3) 販売実績	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦の激化による世界経済の不確実性が高まっており、先行き不透明な状況で推移しました。一方、日本経済は、米中貿易摩擦に伴う世界経済減速、更にヨーロッパ経済の弱さから、輸出の低迷が続き景気に足踏み感が見られ、設備投資を先送りする動きが見られました。

このような経済情勢の中で、当社グループは新規顧客の獲得、既存顧客への新価値提供のため新製品、新技術の開発に注力するとともに、競争力強化のためのコスト低減等に取り組み、国内需要にとどまらず海外での需要に積極的に対応し需要の掘り起こしに注力してまいりましたが、半導体関連や工作・産業機械業界の低迷が続くなど製造業を中心に設備投資が鈍化し、当社グループを取り巻く環境は厳しい状況でありました。こうした状況の結果、当第2四半期連結累計期間の受注高は1,795百万円（前年同四半期比40.6%減）、売上高は1,837百万円（前年同四半期比31.5%減）となりました。損益については、営業損失131百万円（前年同四半期は営業利益107百万円）、経常損失124百万円（前年同四半期は経常利益121百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失111百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益98百万円）の計上となりました。

今後におきましては、米中貿易摩擦や中国経済等の減速など外部環境の厳しさは続くものの、人手不足や設備老朽化を受け、IoTを活用した合理化・省力化投資や更新投資の需要が期待されます。当社グループとしては、こうしたニーズに対して積極的な提案営業を行い、引き続き受注・売上の確保に努めてまいります。

以下主なセグメントの業績についてご説明申し上げます。

(電源機器)

電源機器につきましては、電池業界・自動車関連業界ならびに電子業界等の様々なニーズにお応えしつつ、受注の確保に取り組んでまいりました。汎用電源では、高効率の電力変換を実現した新型直流電源装置を新たに市場へ投入するとともに小型パルス電源や極小容量などの特殊仕様に対応した様々な注文にもお応えできるよう取り組んでまいりましたが、受注高は719百万円（前年同四半期比13.3%減）、売上高は694百万円（前年同四半期比31.9%減）と大きく減少いたしました。

今後につきましては、多様な市場のニーズに応えるべく高効率の新型直流電源装置のラインアップの拡大と故障予知機能を搭載したデジタル制御式整流器の拡販に注力し、受注拡大を目指してまいります。

(表面処理装置)

表面処理装置につきましては、新規及び更新需要の掘り起こしに注力してまいりました。加えて、改造や修理メンテナンス案件に対しても積極的に取り組んでまいりました。しかし、景気減速懸念から、大型の新規案件が計画延期または中止になるなど、受注高は326百万円（前年同四半期比73.8%減）、売上高459百万円（前年同四半期比48.2%減）と大きく減少いたしました。

今後につきましては、生産現場における省力化・省人化需要に対して積極的な技術提案を行い、更新・改造案件の掘り起こしを積極的に進めるとともに、新規設備需要に対して、IoT技術を活用した予防保全システムを備えたCCCS-M（当社グループの商品名）の提案を積極的に推進し、受注・売上の確保に努めてまいります。

(電気溶接機)

電気溶接機につきましては、国内自動車業界、鋼製家具業界、電装機器業界、建設資材業界などを中心に、新規設備投資・更新需要に対して積極的に取り組んでまいりました。一方、海外につきましても海外代理店との連携を密にして電子部品業界を中心とした積極的な拡販に努めた結果、設備の更新及び新規立ち上げに伴う、汎用機の受注が増加したものの、市場の景気先行き不透明感から専用機は大きく減少したため、全体として受注高は369百万円（前年同四半期比20.2%減）、売上高は362百万円（前年同四半期比20.4%減）と大きく減少いたしました。

今後につきましては、新型インバータ溶接機及び制御機器の拡販に注力し、国内外を問わず、受注・売上の確保に努めてまいります。

(環境機器)

環境機器につきましては、表面処理装置に付帯する機器として、販売に取り組んでまいりました。その結果、受注高は169百万円（前年同四半期比60.1%増）、売上高は109百万円（前年同四半期比17.7%減）となりました。

今後につきましては、更なるコストダウンに取り組みつつ海外市場を含め販路拡大に向け取り組んでまいります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて15.9%減少し3,734百万円となりました。これは、主として現金及び預金が242百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が697百万円、電子記録債権が329百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.5%減少し934百万円となりました。これは、主として投資その他の資産が31百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて13.5%減少し4,668百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて21.2%減少し2,034百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が416百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて6.0%減少し488百万円となりました。これは主として退職給付に係る負債が18百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて18.6%減少し2,523百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて6.6%減少し2,145百万円となりました。これは、主として利益剰余金が131百万円、その他有価証券評価差額金が19百万円減少したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、期首時点に比べて242百万円増加し1,259百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、資金の増加は283百万円(前年同四半期は74百万円の減少)となりました。

収入の主な内訳は、売上債権の減少額1,026百万円であり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額416百万円、税金等調整前四半期純損失113百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は19百万円(前年同四半期は24百万円の減少)となりました。

収入の主な内訳は、有形固定資産の売却による収入10百万円であり、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出24百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は19百万円(前年同四半期は19百万円の減少)となりました。

支出の主な内訳は、配当金の支払額19百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、概ね当初の予想の範囲内であるため2019年8月9日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

記載の業績予想数値につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因により業績予想とは異なる可能性があります。実際の業績に与え得る重要な要因には、当社の事業を取り巻く経済環境、市場動向等が考えられます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,166,117	1,409,015
受取手形及び売掛金	1,750,548	1,053,498
電子記録債権	562,655	233,515
商品及び製品	59,982	53,743
仕掛品	784,981	823,511
原材料及び貯蔵品	94,344	104,349
その他	21,863	57,051
貸倒引当金	△650	—
流動資産合計	4,439,844	3,734,684
固定資産		
有形固定資産	280,216	286,880
無形固定資産	52,135	52,607
投資その他の資産	626,034	594,693
固定資産合計	958,387	934,181
資産合計	5,398,231	4,668,866
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,170,372	753,610
短期借入金	740,000	740,000
未払法人税等	40,415	6,956
その他	630,189	533,727
流動負債合計	2,580,976	2,034,294
固定負債		
役員退職慰労引当金	116,200	114,550
退職給付に係る負債	343,424	324,691
その他	60,244	49,486
固定負債合計	519,869	488,728
負債合計	3,100,845	2,523,022
純資産の部		
株主資本		
資本金	503,000	503,000
資本剰余金	225,585	225,585
利益剰余金	1,424,475	1,293,163
自己株式	△15,724	△15,773
株主資本合計	2,137,337	2,005,975
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	153,660	134,570
繰延ヘッジ損益	—	△338
為替換算調整勘定	6,387	5,637
その他の包括利益累計額合計	160,048	139,868
純資産合計	2,297,385	2,145,844
負債純資産合計	5,398,231	4,668,866

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	2,681,261	1,837,724
売上原価	2,043,933	1,495,984
売上総利益	637,327	341,740
販売費及び一般管理費	530,316	473,225
営業利益又は営業損失(△)	107,011	△131,485
営業外収益		
受取利息	238	367
受取配当金	4,732	4,912
持分法による投資利益	7,226	4,911
為替差益	866	—
その他	4,372	1,573
営業外収益合計	17,435	11,764
営業外費用		
支払利息	2,844	2,926
為替差損	—	375
その他	409	1,241
営業外費用合計	3,254	4,544
経常利益又は経常損失(△)	121,193	△124,265
特別利益		
固定資産売却益	—	10,529
特別利益合計	—	10,529
特別損失		
固定資産処分損	880	0
特別損失合計	880	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	120,313	△113,736
法人税、住民税及び事業税	5,371	939
法人税等調整額	16,788	△2,705
法人税等合計	22,160	△1,766
四半期純利益又は四半期純損失(△)	98,152	△111,969
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	98,152	△111,969

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	98,152	△111,969
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,366	△19,090
繰延ヘッジ損益	—	△338
為替換算調整勘定	△920	△750
その他の包括利益合計	△2,287	△20,179
四半期包括利益	95,865	△132,148
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	95,865	△132,148
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	120,313	△113,736
減価償却費	20,784	17,369
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△324	△774
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	36,414	9,329
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△40,996	△18,732
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△8,000	△1,650
受取利息及び受取配当金	△4,971	△5,279
支払利息	2,844	2,926
持分法による投資損益(△は益)	△7,226	△4,911
固定資産処分損益(△は益)	880	△10,529
売上債権の増減額(△は増加)	△71,106	1,026,159
たな卸資産の増減額(△は増加)	△49,600	△42,326
仕入債務の増減額(△は減少)	56,224	△416,768
その他	△114,169	△130,294
小計	△58,934	310,782
利息及び配当金の受取額	4,971	5,279
利息の支払額	△2,923	△3,008
法人税等の支払額	△17,997	△30,040
営業活動によるキャッシュ・フロー	△74,884	283,012
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△20,583	△24,205
有形固定資産の売却による収入	200	10,590
無形固定資産の取得による支出	△4,000	△5,660
投資有価証券の取得による支出	△125	△129
その他	△373	△156
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,881	△19,560
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△19,432	△19,417
その他	△126	△49
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,559	△19,467
現金及び現金同等物に係る換算差額	△22	△1,086
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△119,348	242,898
現金及び現金同等物の期首残高	1,369,069	1,016,117
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,249,721	1,259,015

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. その他

生産、受注及び販売の状況(自2019年4月1日至2019年9月30日)

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計年度における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
電源機器	613,588	△38.3
表面処理装置	517,610	△40.3
電気溶接機	386,497	△24.5
環境機器	110,007	△1.6
その他	180,350	△27.3
合計	1,808,054	△33.8

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第2四半期連結累計年度における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
電源機器	719,419	△13.3	375,953	△26.1
表面処理装置	326,556	△73.8	699,134	△36.6
電気溶接機	369,528	△20.2	135,499	△35.2
環境機器	169,124	60.1	76,761	311.4
その他	211,254	△44.5	227,180	△37.8
合計	1,795,883	△40.6	1,514,529	△31.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計年度における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
電源機器	694,377	△31.9
表面処理装置	459,414	△48.2
電気溶接機	362,112	△20.4
環境機器	109,858	△17.7
その他	211,960	13.8
合計	1,837,724	△31.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。